

## 第一次選考を終えての講評

※審査員の方々より

- 今年も心温まる作品に数多くふれることができ、うれしく思います。
- 南会津ならではの祖父母と孫との交流が多くあり、ほのぼののしました。
- ほとんどの学校が九〇%以上の出品率で、この事業に対する思いや関心の高さが伺えました。
- 今年も出品率がアップしているのに驚かされました。関係者の努力に敬意を表します。
- かけあいの順序があると思いますが、逆になっている作品があるのもつたいないと感じました。
- きっかけの内容にとっても感心させられたものが多くありました。そのうえで作品を手直しするとすばらしい内容になる作品がたくさんあったので、学校でアドバイスをしてあげる場や時間があればいいなと思いました。
- 家族という枠を超えて、人、生物等の互いの交流を通して命の尊さを問う事業になっていると思います。
- このすばらしい事業を一般の方にももっと関心をもってもらいたいと思います。

※ 審査員は、退職校長会の四名の方にお願ひしました。  
厳正なる審査をありがとうございました。

## 本事業に関する出品者の皆様からの御意見・御感想

- 一年生になり、末っ子も十七文字デビューになりました。向き合って作る夏休みの親子のふれあいの機会となりました。
  - 毎年楽しみにしております。ずっと続けてほしいです。
  - 十七字を考えながら、今までの出来事を思い出してクスツと笑ったり、ホロリとしたり素敵な時間です。我が家の恒例行事です。
  - 毎年、誰とこの作品づくりをするか楽しみに話し合います。子供と休み中にかかわった時間が長い大人が、やはり相方になるようです。
  - 親子で作品を作るという共同作業を楽しめました。
  - 毎夏、頭を悩ませながら作っていますが、そのようなこともよい思い出になっていると思います。
  - 泊まりにくる孫とのふれあい俳句。いつも楽しみに二人で考えています。会話ははずみます。
  - 子との日常を考える、ふり返る良き機会となっています。
  - 夏休みになると子供達と一緒に十七字を考えることが恒例となりました。親子のコミュニケーションの一つとして重宝しています。
  - 子供と向き合い、何が心に残ったかじっくり語り合う良い機会です。
  - 今年も親子で作品を作ることができ嬉しく思います。
  - 自由参加にしてほしいです。
  - 最近自由律俳句などもあるので、文字数は自由にしてもよいと思います。子供は大人よりもずっと十七字や五七五にしばられていると思います。
- ここに掲載した以外にもたくさんの御意見や御感想をいただきました。ありがとうございました。

□ 応募総数 小学校 992点(32)  
中学校 538点(25)  
幼稚園 2点(0)  
合 計 1,532点(57)

□ 掲載作品 <第2次選考通過作品>  
小学校 3点(1) 中学校 1点(0) 計 4点(1)  
<第1次選考通過作品>(第2次選考通過作品を含む)  
小学校 49点(1) 中学校 27点(2)  
幼稚園 2点(0) 計 78点(3)  
<スマイル賞作品>  
小学校 49点(2) 中学校 26点(1) 計 75点(3)

※( )内は「うち復興部門数」を表しています。

□ 発 行 福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課